

あわしまこう

栗島港（三豊市管理地方港湾）

栗島港は、詫間港の北方 4.5km の海上に浮かぶ美しい栗島の南岸に位置する本島随一の良港です。

本港は、詫間港との間に定期船が就航し、栗島の玄関港としての役割を果たすとともに、島内で営まれる生産、消費物資の取扱港として、また、瀬戸内海航行船舶の補給港としても重要な役割を果たしています。

本港の整備は昭和 25 年から始められ、現在まで逐次整備が進められています。

また、本港は、明治 30 年に村立（当時の栗島村）で設置されて以来、昭和 62 年 3 月に廃校となるまで 90 年余りにわたり、海の男を養成してきた国立栗島海員学校が背後にあり、また、良好な自然にも恵まれていることから、海員学校跡を海洋記念館として保存し、あわせて栗島を教育・レクリエーションゾーンとして整備するとともに、交流拠点施設としての発展が期待されています。

